

(調査様式 1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 26年 5月 12日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103318
法人名	医療法人 上原クリニック
事業所名	グループホーム あかね (2F)
所在地	鹿児島県鹿児島市山田町73番地1 (電話) 099-275-8008
自己評価作成日	平成26年05月12日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL <http://www kaigokouhyou jp/kaigosip/Top do?PCD=46>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年7月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

- 楽しい雰囲気作りをして、御家族や地域の方々が気楽に訪問しやすい居心地の良いホームにしている。
- 認知症介護について日々自己研鑽し、入居者本位の介護をしていく努力をしている。
- たくさんのご家族様の参加、協力を頂いている、季節ごとの園外活動により、御家族同士、仲良く良い関係を築いている。
- 同じ敷地内にクリニックが併設されており、常時連携が取られていて、緊急時にも迅速に対応できる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	C	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	全職員が事業理念を共有しており、常にサービスにつなげている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	グランドゴルフや夏祭りに地域の方々や、職員も参加し、利用者様と一緒に楽しめる交流の機会を作っている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	校区の小中学生との学習交流、婦人会、老人会の研修受け入れなどを通して認知症への理解の場を提供している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議を通して、委員からの意見や提案をサービス向上に活かしている。 委員に園外活動、行事等にも実際に足を運んでもらっている。		

5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市、介護相談員の受け入れ ・運営推進会議への参加等で協力関係を築いている。 	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	定期的に勉強会を開き正しい知識と理解を深め、身体拘束のないケアに取り組んでいる。	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている</p>	地域の勉強会や研修会の参加を通して、意識向上を図り虐待防止に努めている。	
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	公的機関からのポスター、リーフレット等で知識を得ている。	

9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	改定等の際は、その都度文書や、家族会等で口頭説明を行い、家族の理解、納得を図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会を設け意見を出し合い、運営に反映している、玄関に意見箱を置いており、その都度意見があれば聞き対応している。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員会議（1／月）で意見や要望提案等を聞く機会は設けているが、思うように反映されているかは疑問である。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員は常に職場環境と条件の整備を意識しながら努力を重ね、実績を重ねている。		

	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人外での研修や講習を受講する機会を作り、自らの力量を伸ばす努力をしている。		
14	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	勉強会、講習会に積極的に参加し、情報交換を行うことで、サービス向上に繋げている。		

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

	○初期に築く本人との信頼関係			
15	サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の思いを共感して傾聴することで不安を取り除き安心して生活して頂けるよう努めている。		
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の要望を受け入れ、今後のサービスの参考にしている。		
17	○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	充実した生活が出来る様、本人家族の方からの要望を伺い、サービスに努めている。		
18	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者に出来る部分は協力してもらい、毎日の生活の中で共に暮らせる関係を築いている。		

19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>職員と共に、利用者様との生活に常に関わって頂ける様、行事への参加を通して絆を深めている。</p>
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>家族に協力を頂きながら、実家への帰省や昔、ご本人様が大切にされていた畠へ収穫に行ったりしている。</p>
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>馴染みの歌を皆で唄ったり、体操や、物作りを通して、常にコミュニケーションのある生活を支援している。</p>
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>年賀状のやり取りや行事の案内等で関係を継続している。</p>

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

		○思いや意向の把握		
23	9	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりの中で、声かけし、把握する様に努めている、家族、友人、関係者から情報を得るようにしている。	
		○これまでの暮らしの把握		
24		一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族からの情報を通じて、アセスメントを行い職員全員で共有、把握に努めている。	
		○暮らしの現状の把握		
25		一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者一人一人の生活リズム好きな事等を理解し、出来る能力を最大限に活かせる生活を支援している。	
		○チームでつくる介護計画とモニタリング		
26	10	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族の意見を聞いて反映させるようしている、職員同士でも意見交換をし、本人が自分らしく楽しく暮らせるように介護計画の作成に活かしている	

		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	排泄、食事量、水分摂取量を毎日記録している、申し送り等で様子報告し、情報を共有しながら、個別支援に反映させている。		
27		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	隣接しているクリニックとの医療連携体制を生かして、入居者の異変時には早急な対応で柔軟な支援、サービスが出来ている。		
28		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を發揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	夏祭りや花見等地域の方々に協力をしてもらいながら、安全で豊かな暮らしを楽しめるように支援している。		
29	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	クリニックが隣接しているが、入居前より、かかっていたドクターからの医療も受けられるように情報交換をしながら、他医療機関との良い関係を築いている。		

		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	1週間に1度、看護師による健康チェックを行い、利用者様の変化も迅速に気付き、対応、受信できるように支援している。		
31		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中の情報は管理者、責任者に定期的に状況を伺って記録など取っている、入院先の医療関係者との密な連絡は家族を通して行う事が主になっている。		
32		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいく	終末期のあり方については、契約時に十分に説明を行い事業所の方針を理解し、共有して頂いている。		
33	12	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急救命法、AEDの取り扱い訓練を、定期的に受けて、急変発生時に対応できる様にしている。		
34					

		○災害対策		
35	13	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	公的な避難場所はポスター掲示で認知しているも、具体的な手段や方法は、今後の課題である。	

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

		○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	失禁等は、声掛けし、トイレでは、カーテンを閉めて使用している。		
36	14	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	全ての場面で、声掛けを行い、本人の希望を聞き出せるように心がけている。		
37		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にし、声掛け後支援している。		
38		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	起床時、洗面、整髪、更衣に、声掛けし、好みの物を選んで頂くようにしている。		
39		○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や片付けを見守りながら行っている。		
40	15				

	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量を記録して、一人ひとりの健康状態が確保できる様に、声掛けしている。		
41	○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアとして、義歯の洗浄、歯磨等を声掛けし、見守りや介助を行っている。		
42	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	声掛けして、トイレ誘導を行い、出来るだけトイレでの排泄を促している、失敗された時は、傷つかないように配慮している。		
43 16	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維質の多い食材、乳製品を探り入れている、体を動かす機会を作っている。		
44				

45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>入浴の順は、なるべく皆さん平等にして頂いている、又その時の気分や体調に合わせて対応している、入浴中の会話は大事にしている。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>一人ひとりの体調や前夜の睡眠状態に応じて休息を取って頂くよう声掛けしている。</p>	
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬による身体の状況変化を観察、報告し適切な服薬支援がなされるよう努めている。</p>	
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>個々の好みや性格に合わせて壁画の制作等の参加を支援している。</p>	
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>一部の入居者を除き、充分とはいえないのが現状である、対策を考え努力したい。</p>	

	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	可能な入居者については、家族と外出の折、その都度買い物をして頂いている。		
50	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	希望があれば、電話の取り次ぎを行っている、暑中見舞いや年賀状を職員と作成し、家族へ出している。		
51	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の場所に季節の花や緑を置き、窓を開け外気を感じてもらい、心地よく過ごせるように配慮している。		
52 19	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いで過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファーを配置したり、座席も気の合う同士にし、交流が楽しめるようにしている。		
53				

		○居心地よく過ごせる居室の配慮		
54	20	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の写真や花、手作りのカードを自由に飾り、観て楽しみ、心地よく過ごせる居室作りに努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホールは車椅子、シルバーカー、歩行器が自由に往来でき安全に歩行できるように工夫している。	

V アウトカム項目

			1 ほぼ全ての利用者の
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目 : 23, 24, 25)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目 : 18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目 : 38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目 : 36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目: 30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目: 28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目: 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	2 家族の2/3くらいと
		<input type="radio"/>	3 家族の1/3くらいと
		<input type="radio"/>	4 ほとんどできていない

		1 ほぼ毎日のように
64	通りの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/> 2 数日に1回程度ある
		3 たまに
		4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)	<input type="radio"/> 1 大いに増えている
		2 少しづつ増えている
		3 あまり増えていない
		4 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目 : 11, 12)	<input type="radio"/> 1 ほぼ全ての職員が
		2 職員の2/3くらいが
		3 職員の1/3くらいが
		4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1 ほぼ全ての利用者が
		2 利用者の2/3くらいが
		3 利用者の1/3くらいが
		4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1 ほぼ全ての家族等が
		2 家族等の2/3くらいが
		3 家族等の1/3くらいが
		4 ほとんどいない